

研究・業績 発表リスト—2020年4月～2021年3月—

安藤直紀教授

- (学会発表・論文) What skills are important to overcome language barriers? An exploratory study (with M. Suzuki & H. Nishikawa), Academy of International Business Conference, 2020年7月
- (研究ノート) 東ヨーロッパ企業の海外直接投資に関する予備的分析, 法政大学経営学会, 『経営志林』、第57巻、第2号、pp.49-62, 2020年7月

猪狩良介准教授

- (論文(共著・ディスカッションペーパー)) A Bayesian Dynamic Model for Incomplete Preferences with No-Choice Options in Conjoint Analysis, Elsevier, *SSRN Working Paper Series*, 3652086, 2020年7月
- (論文(共著・ディスカッションペーパー)) A Data Fusion Approach for Interpurchase-Timing Model Using the Incomplete Purchase Histories, Elsevier, *SSRN Working Paper Series*, 3803078, 2021年3月

池田宏一郎教授

- (論文) A note on holographic structures, 京都大学数理解析研究所, RIMS 講究録 2170, p6-10, 2020年
- (論文) Groups in generic structures, 京都大学数理解析研究所, RIMS 講究録, 5p, 印刷中, 2021年
- (発表) Holographic 構造について, 日本数学会, 日本数学会年会, 慶應義塾大学矢上キャンパス, オンライン開催, 2021年3月15日
- (講演) Groups in generic structures, 京都大学数理解析研究所, RIMS 共同研究(公開型)「モデル理論における独立概念と次元の研究」, オンライン開催, 2020年12月8日
- (講演) Groups in generic structures, 東海大学, モデル理論夏の学校, 東海大学山中湖セミナーハウス, オンライン開催, 2020年9月9日

石原紀子教授

- (論文) Ishihara, N. The language of respect and dignity for intercultural understanding and conflict resolution: Application to diplomacy and education, In C. Chowdhury, M. Britton, & L. Hartling (Eds.), *Human Dignity: Practices, Discourses, and Transformations* (pp. 97-111). Lake Oswego, OR: Dignity Press, 2020年4月
- (論文) Ishihara, N. Going beyond the icing on the gingerbread: Teaching pragmatics more regularly, systematically, and communicatively, In J. Tarandis, J. Ronald, D. Fujimoto, & N. Ishihara (Eds.), *Pragmatics undercover: The search for natural talk in EFL textbooks* (pp. 21-28). Tokyo: The Japan Association for Language Teaching Pragmatics Special Interest Group, 2020年7月
- (論文) Ishihara, N. Teaching the pragmatics of English as an international language: Practitioners' perspectives informing language teacher development, In Z. Tajeddin & M. Alemi (Eds.), *Pragmatics Pedagogy in English as an international language* (pp. 155-171). London:

Routledge, 2021年1月

- (論文) Ishihara, N. From a native–nonnative speaker dichotomy to a translanguaging framework, In J. C. Félix-Brasdefer & R. L. Shively (Eds.), *New directions in researching, teaching, and assessing L2 pragmatics* (pp. 300–313). Berlin: De Gruyter, 2021年2月
- (論文) Ishihara, N. Il linguaggio del rispetto e della dignità per la comprensione interculturale e la risoluzione dei conflitti nell’ambito della diplomazia e dell’educazione [The language of respect and dignity for intercultural understanding and conflict resolution: Application to diplomacy and education], *Idee in Form@zione: Periodico per la formazione degli insegnanti: [Idea in formation: Journal of Teacher Education, Professionalism and educational effectiveness.]* 10(9), 229–243. Reprint in *English in C. Chowdhury & M. Britton (Eds.) (2020), Human Dignity: Practices, Discourses, and Transformations* (pp. 97–111), Dignity Press. Translated into Italian by Cristina Richieri, 2021年3月
- (論文) Ishihara, N., & Porcellato, A. M. Co-constructing non-essentialist pedagogy: Supporting teachers to support learners’ translanguaging agency through L2 pragmatics instruction, In T. McConachy & A. J. Liddicoat (Eds.), *Teaching and learning L2 pragmatics for intercultural understanding*, 近刊
- (論文) Ishihara, N., & Prado, M. C. A. *The negotiation of meaning in aviation English as a lingua franca: A corpus-informed discursive approach*, *Modern Language Journal* 105 (3), 近刊
- (招待講演) Ishihara, N. 語用論的能力の評価ツール：教室内指導・評価を中心に *Assessing pragmatic competence: Instruments for (classroom-based) assessment*, 広島修道大学人文科学研究科での招待講演, 2021年2月
- (学会発表) Prado, M., & Ishihara, N. (2021, March 20–23). *ELF communication strategies in aviation English*, Paper presented at the Virtual Conference of the American Association for Applied Linguistics, 2021年3月

川 島 健 司 教授

- (論文) 「『収益』という用語は、いつからどのように使われてきたか」、森山書店、『会計』第198巻、第6号、pp.43–56., 2020年12月
- (発表) 「収益という会計用語に関する研究」、立教大学経済研究所、会計研究の最新動向に係るワークショップ(第4回)、2021年3月11日

金 容 度 教授

- (著書) 日本の企業間取引—市場性と組織性の歴史構造、有斐閣、2021年3月
- (著書) 日本の企業間関係(韓国語)、博英社、2020年8月
- (論文) 組織間関係論再考(3・完)—組織原理と市場原理のとらえ方を中心に—, 法政大学経営学会、『経営志林』、第57巻、第1号、2020年4月
- (論文) 日本の企業間関係の変化をめぐって—21世紀における鉄鋼取引の組織性と市場性—, 法政大学経営学会、『経営志林』、第57巻、第2号、2020年7月
- (論文) アメリカタイヤ産業史序説(2)—戦前期の企業間競争とOEタイヤの企業間取引—, 法政大学経営学会、『経営志林』、第57巻、第4号、2021年1月

木 村 純 子 教授

- (論文(単著)) 「イタリア農業の底力：テリトリーに埋め込まれた農業活動による地域活性

化」, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』No.18, 25-54, 2021年3月

(査読論文(共著)) The Potential of Geographical Indications (GI) to enhance Sustainable Development Goals (SDGs) in Japan: Overviews and insights from Mishima Potato GI Case Study, MDPI, Sustainability: Special Issue Geographical Indications, Public Goods, and Sustainable Development, 13(2), <https://doi.org/10.3390/su13020961>, 2021年1月

(事典) 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律(地理的表示(GI)法), 丸善出版, 野林厚志編『世界の食文化百科事典』, 504-505, 2021年2月

(論文(単著)) 「テリトリー・アプローチによる農村の内発的発展: トスカナ州アミアータ・テリトリー・オの事例(特集: イタリアに学ぶ, 豊かさ)」, 日本都市計画学会, 『都市計画学会』69(6), 78-81, 2020年11月

坂上 学 教授

(著書・分担執筆) 製本簿からコンピューターへ, 中央経済社, 野口昌良・清水泰洋・中村恒彦・本間正人・北浦貴士編著『会計のヒストリー80』第1部の8所収, pp. 24-26, 2020年4月

(著書・分担執筆) 監査のテクノロジー環境, 同文館出版, 瀧博編著『日本監査研究学会リサーチシリーズXVIII テクノロジーの進化と監査—AIとデジタル技術が拓く新たな監査の可能性—』第2章所収, pp. 11-28, 2020年8月

(著書・分担執筆) 次世代EDINETタクソノミの構造と課題, 中央経済社, 河崎照行編著『会計研究の挑戦—理論と制度における「知」の融合』第11章所収, pp. 253-272, 2020年9月

(著書・分担執筆) 帳簿の電子化と複式簿記の役割, 税務経理協会, 岩崎勇編著『AI時代に複式簿記は終焉するか』第4章所収, pp. 69-84, 2021年2月

(論文・単著) AIを用いた会計研究と機械学習アルゴリズムの理解, 日本公認会計士協会, 『会計・監査ジャーナル』Vol. 32 No. 12, pp. 647-692, 2020年12月

(書評・単著) 『マクロ実証会計研究』中野 誠・吉永裕登〔著〕(四六判・228頁・本体2,700円+税・日本経済新聞出版刊), 中央経済社, 『企業会計』Vol. 73 No. 2, p.142, 2021年2月

(その他・単著) 研究方法のパラダイムシフトに向けて, 中央経済社, 『企業会計』Vol. 73 No. 1, pp. 44-45, 2021年1月

佐野 嘉秀 教授

(書籍) 『英国の人事管理・日本の人事管理: 日英百貨店の仕事と雇用システム』, 東京大学出版会, 2021年2月

(論文) 企業組織の国際比較における方法: 人事管理・労使関係の事例研究を中心に, 一般社団法人社会調査協会, 『社会と調査』No.26, pp36-43, 2021年3月

(論文) 英国企業における職務給と仕事配分—日英比較の視点から—, 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会, 『中央労働時報』第1267号, pp18-22, 2020年11月

(論文) 英国小売業における「職務給」の賃金制度と人材育成: 日英比較の視点から, 公益財団法人流通経済研究所, 『流通情報』No.544, pp44-53, 2020年5月

(論文) 職場での人材育成に関するライン管理者と人事部門の連携, 法政大学経営学会, 『経営志林』第56巻1号, pp1-15, 2020年4月

鈴木 眞奈美 教授

(著書(分担執筆)) Collaborative integrated writing-centered tasks for Japanese EFL learners: Students' perceptions and a teacher's reflection., Cambridge Scholars Publishing, In A. M. Riazi, L. Shi & K. Barkaoui (Eds.), *Studies and essays on learning, teaching and assessing L2 writing in honour of Alister Cumming* (pp. 218-245), May 2020

(オンラインコロキウム) Language proficiency and communicative competence: What is important for us to work in multinational corporations?, Japan-Zentrum der Ludwig-Maximilians-Universität München (LMU), Online-Vortrag, July 2020

(学会発表(共著)(査読有)) What skills are important to overcome language barriers?: An exploratory study, The Academy of International Business (AIB), Paper presented at the Academy of International Business (AIB) 2020 Online., July 2020

高橋 慎 准教授

(論文) Realized Stochastic Volatility モデルー拡張と日本の株価指数への応用ー, 統計数理研究所, 『統計数理』、第68巻、第1号、p65-85, 2020年6月

高橋 美穂子 教授

(著者・分担執筆) 会計における割引計算ー割引率と対応する将来キャッシュ・フローの検討ー, 同文館出版, 『会計・監査研究の展開』、第3章所収、p57-71, 2021年1月

竹内 淑恵 教授

(論文) Facebook ページにおけるネガティブ効果の発生とリレーションシップへの影響, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』 No.18, pp.55-88, 2021年3月

田路 則子 教授

(査読付研究ノート) 新興国スタートアップの資金調達と新興企業向け株式市場の役割 (共著), 日本ベンチャー学会, *Venture Review*, no37, pp.73-77, 2021年3月

(研究ノート) 大学生の起業意思に関する調査レポートーGUESSS2018 調査結果における日本のサンプル分析ー (共著), 法政大学イノベーションマネジメント研究センター, *イノベーションマネジメント*, no18, pp.207-229., 2021年3月

(学会報告) 大学生の起業意思形成モデルー日本の大学生における行動的計画理論の検証ー (共著), 日本ベンチャー学会, 早稲田大学 オンライン開催, 2020年12月

(学会報告) 起業意思に関する調査報告ーGUESSS 2018 の分析結果よりー (共著), 日本ベンチャー学会, 早稲田大学 オンライン開催, 2020年12月

(学会報告) Can the Flow Experience Affect the Entrepreneurial Mind? A Study of Startup Weekend Programs, Babson College Entrepreneurship Research Conference, Knoxville, TN. Conference canceled due to Coronavirus, 2020年6月 (共著)

長岡 健 教授

(発表・論文) 「対話型大規模講義のオンライン化ー受講生/教員間インタラクションに関する考察ー」, コンピュータ利用教育学会, 『2020 PC Conference 論文集』、pp251-255., 2020年8月

- (シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)) 「ニューノーマル時代における知財人財育成」, 日本知財学会, 日本知財学会 第18回年次学術研究発表会「ニューノーマルにおける知的財産戦～5G, AI, IoT, DXでポスト・コロナ時代を拓く～」, 2020年11月
- (シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)) 「あらためてダイバーシティ (経営編)」, 特定非営利活動法人 GEWEL, GEWEL オープンフォーラム2020『あらためてダイバーシティ』, 2020年12月

新倉 貴士 教授

- (論文) 選挙マーケティングにおける投票行動, 日本地域社会研究所, 鈴木たつお・新倉貴士共著『ビジネスマンよ議員をめざせ: セカンドキャリアのすすめ』, 第6章、所収、186-216頁, 2020年11月

西川 英彦 教授

- (論文) 「新製品開発クラウドソーシングがもたらす複合的成果」, 『組織科学』54(2), 4-15, 2020年12月
- (論説) 「学生のアイデアが専門家を超える条件」, 『とうほう navi』16, 1-5, 2020年4月
- (論説) 「電子教科書の効用: 全員で学習成果共有」, 『日経産業新聞』2020年4月10日付, 13
- (論説) 「オンライン懇親会: コロナ機に顧客価値創造」, 『日経産業新聞』2020年5月20日付, 7
- (論説) 「ロコガイド電子チラシ: コロナで新たな価値」, 『日経産業新聞』2020年8月7日付, 12
- (論説) 「コロナとイベント: オンラインで革新」, 『日経産業新聞』2020年9月18日付, 11
- (論説) 「ホテルの空き活用: 補完関係から新事業」, 『日経産業新聞』2020年10月30日付, 13
- (論説) 「『無印良品』新潟で挑戦: 地域資源と補完、追求」, 『日経産業新聞』2020年12月11日付, 14
- (論説) 「成功するクラウドソーシング: 共通認識持たせる」, 『日経産業新聞』2021年2月5日付, 11
- (論説) 「富士ソフトの仮想オフィス: リアル以上の価値」, 『日経産業新聞』2021年3月19日付, 17
- (学会報告・共同) 「#いまマーケティングができること ～新型コロナ危機での探究と創発～」, 日本マーケティング学会, オンライン緊急座談会、オンライン, 2020年5月
- (学会報告) 「企業によるユーザー・イノベーションの有効活用」, 日本マーケティング学会, 第10回ユーザー・イノベーション研究報告会、オンライン, 2020年5月
- (学会報告・共同・査読有) “What skills are important to overcome language barriers?: An exploratory study,” Academy of International Business (AIB) 2020 Online, 2020年7月
- (学会報告) 「ユーザー・イノベーションのプラットフォーム」, 日本マーケティング学会, マーケティングカンファレンス2020、オンライン, 2020年10月

平田 英明 教授

- (オンライン(単著)) 「地域別支出総合指数 (RDEI) からみた日本経済」, 東京財団政策研究所, 『政策データウォッチ』第29号, 2020年6月
- (オンライン(単著)) 「オルタナティブ・データは万能か?」, 東京財団政策研究所, 『政策データウォッチ』第34号, 2020年10月
- (雑誌(単著)) 「『W データ時代』の到来と日本のシンクタンクに求められるもの」, 東京財団政策研究所, 『東京財団政策研究所 Review』, 2021年3月

- (百科事典(単著および共著)) 「フィッシャー効果」「連邦破産法」「銀行」「中央銀行」「普通銀行」「都市銀行」「地方銀行」「第二地方銀行」「信託銀行」「政府金融機関」「投資銀行」「国際協力銀行」, 小学館, 『日本大百科全書(ニッポニカ)』, 2020年11月
- (用語集(単著)) 「長期化する異次元緩和」, 「イールド・カーブ・コントロール」, 「超低金利環境と副作用」, 日本金融通信社, 『2021年版 金融時事用語集』, 2021年1月

福田 淳 児 教授

- (論文) 両利き組織のマネジメントー郵送質問表調査の結果よりー, 法政大学経営学会, 『経営志林』, 第57巻第3号, pp.1-20, 2020年10月

洞口 治 夫 教授

- (学会報告(査読有)) “Data Point Strategy by Agritech-Sensing Business Firms: Stage Theory of Big Data Information Technology,” Tetsuro Goto との共同, Academy of International Business (AIB) 2020, Annual Conference, Remote, July 8 in July 1-9, 2020.
- (研究ノート) 「ディグローバル化の理論的分析視角ーパンデミックによる外生的危機と国際経営ー」『イノベーション・マネジメント』第18巻, 2021年3月, p. 231-246.

山 寄 輝 教授

- (論文(共著)) 取引コストを伴う最適消費・投資問題の進展について, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, イノベーション・マネジメント, No.18, pp.141-159, 2021年3月
- (論文(査読付き)) Probability weighting and default risk: A possible explanation for distressed stock puzzles, Taylor & Francis, *Quantitative Finance*, Vol.20, No.5, pp.745-767, 2020年

戎 谷 梓 准教授

- (論文) Role of the process model in aligning mental models in global virtual teams, 法政大学経営学会, 『経営志林』, 第57巻, 第3号, p37-46, 2020年10月
- (研究発表) Process model as an antecedent of mental models in agile-based global virtual teams, AIB Southeast Asia Regional Chapter, Annual Meeting of AIB SEAR 2020 ※論文集掲載なし, 2020年12月
- (研究発表) Role of emotional intelligence in virtual team collaboration, AIB Southeast Asia Regional Chapter, Annual Meeting of AIB SEAR 2020 ※論文集掲載なし, 2020年12月
- (研究発表) 大学教育におけるバーチャルチーム・マネジメント, 法政大学経営学会, 2020年度第4回経営学会研究会※論文集掲載なし, 2020年12月